



10月9日提出！ 東地申第15号

品川信号通信設備技術センター庁舎の緑カビの多発を直ちに解消し、
安全で安心した職場環境実現に関する緊急申し入れ

2023年6月22日に『変革2027』の実現に向けた組織の再編」施策で
新設された「品川信号通信設備技術センター」

その庁舎は『手抜き設計』『突貫工事』

その結果、職場環境は「カビだらけ」という劣悪なものに！

ロッカーの制服にカビ！

男性寝室にカビ！布団が湿気だらけ！

女性更衣室の天井が一面カビ！

貸与品のみならず健康被害を訴える社員も発生！

分会が調査したところ

7～9月の平均湿度は80%以上！

事務所衛生基準規則第5条の3

「相対湿度が40%～70%になるように
努めなければならない。」から逸脱！

会社の対応は…

- 湿気が少ない日に環境測定！
- 抜本的対策を行わず放置！

現場管理体制の欠落！

労働安全衛生法や労働契約法にも抵触！

未だに終わらない説明交渉！全ての責任をWGに押し付ける

実施ありきの施策は、現場力の低下を招いている！

健康経営とは真逆の職場環境ではエンゲージメントなど創出できない！

外向けの体裁を整えるのではなく、直ちに庁舎を閉鎖すべきだ！

<申し入れ内容>

1. 品川信号通信設備技術センター庁舎におけるカビ発生に対する見解を具体的に示すこと。
2. 品川信号通信設備技術センター庁舎におけるカビ発生における対応について具体的に示し、抜本的対策を行わない理由を明らかにすること。
3. 健康被害や業務運営上支障を受ける社員が相次いでいることから、直ちに品川信号総合事務所（品川現業D棟・旧品川信号技術センター）に移転すること。尚、直ちに移転が出来ない場合は可及的速やかに民間ビル等の事務所環境が法令に準拠できる箇所に移転を行うこと。
4. 品川信号通信設備技術センター各メンテナンスセンターにおけるカビ発生に対して、直ちに調査および抜本的対策を行うこと。
5. カビ発生に伴い、貸与品および供与ロッカーに収容している私物等にカビ被害が出ている社員に対して、カビ発生
の抜本的対策を行わなかった会社の責において弁済等の対応を速やかに行うこと。
6. 今申し入れに対する団体交渉は2024年10月23日までに開催すること。

このままでは命に関わる！丁寧かつ具体的な回答と速やかな団体交渉の開催を求める！